

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!



おおた工業製品応援宣言



群馬県太田市
が応援するふるさと名物

◎ものづくり大国太田市の
機械部品加工技術とそれを応用
した工業製品群





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

応援宣言

群馬県太田市

ものづくり大国太田市のルーツ

太田市は、群馬県南東部、東毛地区の東京から北西へ86kmに位置し、北の渡良瀬川、南の利根川に囲まれた工業都市です。

工業では輸送用・民生用機械機器を中心に北関東屈指の製造品出荷額(約2兆9,000億円(全国12位、関東4位:平成27年))を誇り、産業の主翼となっていますが、そのルーツを辿れば中島飛行機から始まります。

戦後中島飛行機は、航空機産業で培った技術を継承し平和産業へと転換し、リヤカーや自転車、ラビットスクーターなどの開発・製造を経て、世界で輝く自動車関連産業へと発展しました。また「中島」で技術を磨いた工員も、独自にメリヤス(ニット)工場を開いたり、工場跡地に立地してきた民生用電気機器メーカーからの発注を受けたりと、川下産業を支えるものづくり企業群という現在の産業構造の形成の礎となってきました。

また近年は、機械部品加工で培った技術を用いてインテリア・エクステリア製品を手掛ける企業も現れ、高度な加工技術を活かした新しい工業製品が生まれています。



国指定重要文化財となった
中島知久平邸(外観・内観)

◆自動車、業務用・民生用電気機器及びその部分品とそれに係る技術

太田市は、自動車産業とそれを支える基盤技術産業を中心とする機械産業が集積する大手メーカーの企業城下町です。大手メーカーの最終製品の構成部分品のほぼ全てを市内の事業者が製造しています。大手メーカーの要望に応え続けた加工技術が地域の事業者の独自のノウハウとして蓄積され、太田市の地域資源となっています。

◆「太田メリヤス」として知られた「ニット製品」

中島飛行機が解体後、市内に残った技術者が太田市で手紡機を使ったことや、繊維産業地帯が周囲にあったことにより、ニット作りが始まり、「太田メリヤス」として国内シェア90%以上を占める一大産業へと成長しました。その後製品の海外生産への移転の影響もあり、ニット生産に携わる人口や生産量は大幅に減少しましたが、現在も技術を引き継いでいる事業者が、高品質なニット製品を作り続けています。



◆機械加工技術・ニット製造技術等を応用した製品・商品群

戦後脈々と受け継がれ、発展してきた機械加工技術やニット製造技術は、精度の高い部品や高品質なニット製品を産み出し、高度成長期から今日まで太田市の産業を形成してきました。

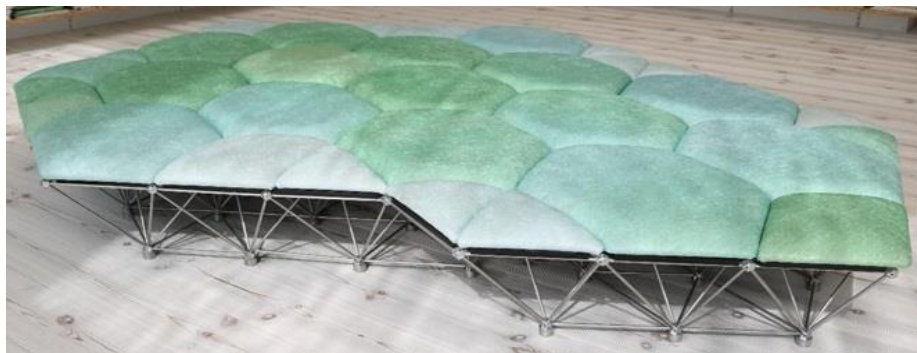
近年、その技術を応用したインテリア・エクステリア製品等の開発・製品化の流れが生まれており、太田市に新しい産業と文化を創出しています。



太田市の取り組み

◆まちづくり×ものづくり

太田市美術館・図書館建設の際に設計建築家とコラボし、館内設置什器の製作を市内機械加工企業の経営者集団が設立したまちづくり会社に委託。その点も評価され太田市美術館・図書館は2018グッドデザイン賞ベスト100に選ばれました。



◆おおたシティプロモーション事業

市の「魅力」「強み」「地域資源」の掘り起こし
や再発見につながる自発的な活動の支援事業

「おおたニット プロモーション事業」

市内のセレクトショップとニット製造企業が協働し
た太田市産ニット製品のブランディングや販路開拓
を支援

太田市の取り組み

◆新技術・新製品開発・販路開拓・人材育成支援

企業の新技術・新製品開発及び販路開拓を助成することで市内ものづくり企業の技術高度化や製品開発とその販路開拓を支援しています。また(一財)地域産学官連携ものづくり研究機構と連携し経営・技術・現場改善などのセミナーや新入社員研修を開催し人材育成支援を行っています。

